

高学年 テーマ④ 自助と共助の大切さを知る

学習のねらい	わたしたちができることを考える～助けられる側から助ける側へ～ ■自助と共助について知る ■災害時の状況は様々であることを知る ■助けられる側から助ける側へなれることを知り、何ができるか考える	
必要物品・資料	<input type="checkbox"/> 授業用スライド資料(高学年④) <input type="checkbox"/> プロジェクター・スクリーン <input type="checkbox"/> ワークシート(高学年④) <input type="checkbox"/> レーザーポインター (もしくは差し棒)	

学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
学習の題目 (1分)	1		
導 入 (計9分)			
1. 洪水・土砂災害時の避難を思い起こし、学習のねらいを確認する。			
1-① 洪水・土砂災害時の避難の難しさを知る。	2 3~9 10 11	● もし、雨がずっと降り続けていたら、洪水災害や土砂災害が起こります。 ● 【写真提示:地域で発生した洪水・土砂災害の紹介】 ● 防災を勉強してきたなかで、「早めの避難が大事」と学んできたと思います。 ● みんなは「避難」できますか？ ・ できる！ ・ 自信ない。	◆ 洪水・土砂災害の事象について確認しながらすすめる。 ◆ 地域の災害写真を提示する。 資料集参照:地域の写真への差替えや枚数を増やすなど適宜スライドを編集してください。 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。
1-② 学習のねらいを知る。	12 13	● 避難できる自信がある人も、ない人もいます。早めの避難をして自分の命を自分で守ることを「自助」といいます。また、地域の人たちと協力し、助け合いながら災害を乗り越えることを「共助」といいます。 ● 今日は、「わたしたちができること」について学習します。	
展 開 (計25分)			
2. 災害時の状況は様々であることを知る。	14 15	● 災害時にはいろいろな状況になることが考えられます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【ワークシート(高学年④)】を配付</div> ● これから、ある状況を出します。それぞれの状況で、どうするかを考えてみましょう。何故そうするか理由も考えましょう。	
2-① 助ける側になることの難しさを知る。	16~17 18 19 20	● 「日曜日の昼間、家族と一緒にいます。台風が近づいて、大雨が降っています。」 A : 川から離れた安全な場所に家があるため、あなたと家族は避難せず家で過ごすことにしました。すると、近所の足腰の悪いお年寄りが雨の中歩いて避難しています。 B : あなたの住む地域に「警戒レベル4 避難指示」が発令され避難場所も設置されたため、避難することにしました。お隣の人は避難せず家にいるようです。 ● 近くの人と見せ合ってみましょう。他の人の考えと違うところはありますか？理由も比べてみましょう。 ・ 同じところもあれば、違うところもあった。 ・ いろんな考えの人がいた。	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 自分の考えを示すことができる。 判断力・表現力 ◆ A.Bを順番に考えさせる。 ◆ 友達とワークシートを見せ合ってそれぞれの行動に対する考えを比べることを促す。 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えてもらう。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> Point:アクティブラーニング 課題解決学習活動(疑似体験) 他者に対して、小学生の自分は何ができるかを具体的に深く考えることで思いやりの心を育てるとともに、実行できる力を育成する。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> Point:アクティブラーニング グループ活動(ディスカッション) 意見を共有することで、多様な考えがあること、人(状況)によって考えが異なることへの理解を促す。 </div>			

学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
3. 助けられる側から 助ける側へなれることを知る。	21	● では、意見の中にも出てきた助けることについて、小学生のみんなが「助ける側」になれることを考えてみましょう。	
3-① 「助ける側」になるときの 注意点を確認する。	22	● 災害の状況を考えたなかで「助けたい」、「手伝いたい」と思った人がいたと思います。その気持ちは素晴らしいです。	☆ 「助ける側になりたい」、 「手伝いたい」という気持ちを持つ。 人間性
	23	● ですが、小学校高学年のみんな一人だけでは、災害時に「助ける側」になるのは、まだ難しいかもしれません。	
3-② 小学生でも「助ける側」 になれることを考える。	24	● でも、家族や地域の大人たちと協力すれば、「助ける側」になれることもあるかもしれません。	◆ 災害時ではなく、平常時 (災害の前)の段階なら、 小学生も「助ける側」に なれること・期待を示す。
	25	● また、『災害が起きているとき』に「助ける側」になることが難しいなら、『災害が起こる前の今(平常時)』になら、小学生のみんなも「助ける側」になれると思っています。	
3-③ ワークシート「問2」へ記入 する。	26	● 「助ける側」になるために、普段からできることを考えてみましょう。	◆ 個人意見をワークシートに 記入するように促す。 例) 日ごろの「挨拶」 : 助け合えるように、どんな 人が地域にいるのか、日ご ろから知っておく(自分のこ とを知っておいてもらう)こ とが大切だから。
Point: アクティブラーニング 課題解決学習活動(疑似体験) 小学生の自分は、「助ける側」になるた めに、普段からできることを考える。		● なぜそれをしたら「助ける側」になれるの か、理由も考えましょう。	☆ 思ったことや感じたことを表 現できる。
Point: アクティブラーニング グループ活動(ディスカッション) 意見を共有することで、多様な考えがあ ること、他者の考えから気づきを得て、 理解を促す。		● 近くの人と見せ合ってみましょう。他の人 の考えと違うところはありますか? 理由も 比べてみましょう。	☆ 置かれた状況の中で自分 たちができることを考えるこ とができたか。
		● どういったことがありますか? ・ 日ごろから挨拶をする。: 互いを知るため。 ・ 地域の避難訓練に参加する。: 防災のこと (助け合い方法など)を勉強するため。 ・ 周りの人に、防災のことを教えてあげる。	
ま と め (計10分)			
4. ふりかえりをする。	27	● 今日の学習で学んだことをふりかえります。	
4-① ワークシート「問3」へ記入 する。	28	● 今日の学習の感想を書きましょう。	◆ 個人意見をワークシートに 記入するように促す。
		Point: アクティブラーニング レポート活動 自分の思ったこと、考えたことをまとめることで、理解を深める。	
4-② 自分の考えを発表する。		● ワークシートに書いた結果を発表してください。 ・ 一人では助けたくても難しいことがあると 思った。 ・ 日頃から、防災・避難を考えるよう、周りの みんなに教えてあげたい。	☆ 思ったことや感じたことを表 現できる。 表現力 ☆ 置かれた状況の中で自分 たちができることを考えるこ とができたか。
4-③ 本時のふりかえりをする。	29	● 授業の最初に話したように災害が起こる前 に安全な場所へ避難して自分の命を守る 「自助」の行動が大切です。そして、地域 みんなで助け合う「共助」も必要です。災 害時にはいろいろな状況になることが考 えられます。まずは一人ひとりが日頃から 災害に備えておくことが重要です。	◆ 自助と共助について最後に 改めておさえる。 思考力 学びに向かう力
	30~ 31	● また、災害時に急に小学生のみんなだけ で助けることは難しいかもしれません。た だ、まわりの大人と協力すればできるこ とがあると思います。そして、災害が起こ る前なら小学生のみんなにもできること があるかもしれません。普段から自分に何 ができるか考え、チャレンジしてみましょう。	◆ 人を助けたいという気持ち を評価し、災害前であれば 自分たちも助ける側になれ ることに気付かせ、具体的 に考えさせる。
授業終了			